

## 南波多地区

### 29. 大野神社境内の自然林と井手野盆地の雲海

大野神社は大野岳の南斜面の8合目付近にあり、社殿の周辺には常緑広葉樹で樹齢300年を超えるスダジイの巨木が十数本繁り、同じ広葉樹のアカガシ、イスノキ、タブノキなどが生育しています。樹齢約200年のイロハモミジの大木もあります。典型的な自然林の形態が保たれており、市内の寺社のなかでも屈指の自然林と言えます。

夏から秋にかけての晴れた夜は、放射冷却によって霧が発生し、日の出ごろ、大野岳から井手野盆地を見下ろすと、八幡岳、眉山、大陣岳の中腹から頂上までが白一色の霧の中から突き出て見えます。展望には、頂上の東側、こぼとけ展望台、夫婦岩などが適していますが、車の中から気軽に眺めるのには大野神社南側の「しあわせ公園広場」付近がよいでしょう。

